

NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報

第99号(201710)

発行 竹田 幸男



第8回ビデオ作品発表会
竹田幸男さん「城壁」より

例会の窓

■平成29年9月例会

日時：9月13日(水) 13:30~

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷
田淵 中村地区委員

欠席者：1名(50音順・敬称略)

例会次第

1. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報随想筆者 谷さん

(2) 今年の第2回撮影会

・日時：11月16日に決定 撮影会プロジェクトで東福寺を中心に検討中。

(3) 7/23(日)合同例会の報告

- ・大阪アマチュア映像祭出品作検討
- ・映像寝屋川の2作品決定

(4) 11月3日の市民文化祭出品作品受付。今日ない人はできれば23日、最終9月中。

(5) 第11回寝屋川映像フェスティバルは来年5月13日(日)

- ・10分以内の作品。
- ・今回からは著作権規制 今年中に出品作完成を。

(6) プレミア研究会

- ・8/3(木)12:00~子供室で実施した。次回は3名で実施を。

(7) 文化連盟理事会の報告(新井理事)省略

(8) 会報はもうすぐ100号、内容をどうするか。

(9) 今年の映像協会忘年会 12月17日(日)9:30合同例会後忘年会

3. 映写・研究発表

3.1 会員持参作品の映写

(1) 妹尾さん 「別子銅山の旅」

- ・これは素材なので、編集してストーリーをまとめればいい作品になると思います。ぜひご本人のナレーションがほしい。

(2) 新井さん 「思い出の摂津峡」

- ・ナレーションの間を、ゆっくりとった方がいい所がある。最後は、もう少し余韻があってもいいのではないか。

(3) 新井さん 「はすの花」

- ・4日間連続撮影。はすの花が開花しはじめ4日目で花びらが散るまでをうまく撮影された。午前2時の分では、懐中電灯で照らしながらの撮影だった。

(4) 谷さん 「金剛山・野鳥&野草」

- ・ナレーションがほしい。花の名の説明が必要。季節ごとにまとめては。

3.2 参考映像

(1) 「近江 オオムラサキを守る会 35年」

- ・小笠原さんが撮影された映像を、琵琶湖テレビが編集して放送されたもの。

4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等(略)





燕 岳 登 山

2017年8月13日～15日

谷 弘 子

1日目 安曇野にある穂高神社で安全祈願する。マイクロバスに乗り換えて有明荘（1380m）へ。荷物の整理をして早めに就寝。あまり眠れなかった。

2日目 5時起床、6時朝食。中房温泉まで歩き燕岳登山口へ。軽く体操をして出発。

ガイドの方が「北アルプスで、燕岳は三大急登のひとつです」と言われた。

登山口からいきなり急登が始まる。1時間ほどで第1ベンチに到着。飲み物を飲む。もう疲れている。第2ベンチ、第3ベンチ、富士見ベンチ、合戦小屋と延々と急登が続く。合戦小屋が近づいてくると花崗岩の岩があらわれた。「合戦小屋まであと5分」の標識を見てもうすぐだと自分に言い聞かせて頑張った。



合戦小屋到着。名物といわれる「スイカ」を注文。1カット（800円）を4人で分けて食べる。甘くて美味しかった。ここで早い目の昼食。ペットボトルの水を購入。私の頭の中をよぎるのは「大変な登山を選んできた。」下山の事も考えると不安で暗い気持ちになる。



娘と一緒に行ってきてくれて休憩ごとに、重いものを渡していく。特にビデオカメラや水。カメラなどに有り難かった。

元気にしてくれたのは、唯一お花。花を見つけては、後方の娘に合図をして撮影してもらおう。ウサギギク、ゴゼンタチバナ、ギンリョウソウ、カエンダケ。トリカブト、ヤマハハコ、テガタチドリ、リンドウ。

合戦小屋から約1時間30分できれいなロッジ風の建物燕山荘に到着。休憩もしないうちにリュックを置いて燕岳を目指した。

「行かれますか？大丈夫ですか？」と言われ

「燕山荘で休んでいます。」と言いかけたが燕岳が目の前に見えている。迷ったが「行きます」と答えた。

最初は足取りも軽く歩けた。

イルカ岩、メガネ岩など珍しい岩が続く。

途中で疲れがきてガイドの方に「ここで待っていてもいいですか？」と言うと「戻るのならこの班の全員が戻ることにになります」と



言われた。限界に近い疲れでしたが、「早く行き過ぎましたね。ゆっくり行きましょう」と笑顔で声をかけてもらい頑張って頂上に到着できた。燕岳2763m。うれしかったです。頂上は狭いため順番に記念撮影。

もとの燕山荘に戻るには別の道があり少し楽に戻れた。



山小屋の部屋は、入り口から遠く荷物を持って狭い廊下を歩いて、急な階段を登り、最後ははしご。男女21名が雑魚寝。初めてだ。屋根裏なので頭をゴンと何度も打った。高山病になるのですぐには横にならず荷物をまとめて外にでる。一面にコマクサが咲いていた。コマクサをよくみると茶色になってきているのもある。「イワヒバリ」はその種？でも食べているようだ。「イ

ワヒバリ」を間近でみる事ができて嬉しかった。

雲の間から顔をだした槍ヶ岳をビデオ撮影できた。

小槍も見えた。

燕山荘では、評判のケーキセットをいただく。

食欲はなかったけどケーキは美味しかった。

夕食後、燕山荘のオーナーのお話を聞き、スイスホルンの演奏を聴きました。



お話では、キャンプしている方がラーメンの汁を捨てたためにカラスがやってきた。カラスは、雷鳥をねらう。自然保護のためにゴミはいけないとのこと。異常気象で去年は、雪が降るはずの時期に雪は降らず積もらず。冬、雷鳥は真っ白なので目立ってしまい外敵

にねらわれやすくなる等…。

3日目 体調はよくないまま朝3時半起床。4時半朝食。

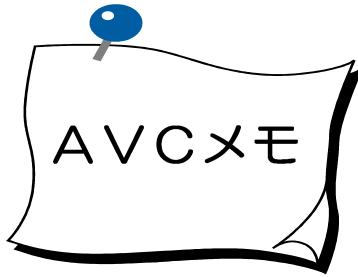
下山中 ホシガラスを見つけた。

下山途中2回吐いてしまう。ガイドの方がそばにこられ笑顔で「高山病でしょう。下山したら治りますから」。そう聞くだけで何かほっとしました。



下山も大変。膝が笑う。「あともう少しと言うところで、先月のツアーでひとりには膝骨折、もうひとりには左足捻挫されたので足元に気をつけて」とガイドの方の話。ゆっくり下山した。無事有明荘に到着。本当にほっとした。無事に怪我もなく帰って来ることができた。しばらくは、登山はやめてハイキングにしようと思っています。





クリエイターズ アップデート

竹田 幸男

ウィンドウズ10のパソコンをインターネットにつながっていると、下のような表示が、時々、頻繁に現れるようになりました。ウィンドウズ10の大型アップデートである、クリエイターズ アップデート（Creators Update バージョン1703・コードネーム：Redstone 2）へのお誘いです。

Windows 10 更新アシスタント

Windows 10 の最新バージョンへの更新

Windows 10 の最も優れた機能の 1 つは、毎回の更新ごとに向上し続けることです。現在、この PC では最も安全な最新バージョンの Windows 10 が実行されていません。この PC ではバージョン 14393 が実行されています。最新のバージョンは 15063 です。

最新のセキュリティ強化と今後の機能改善を適用するには、[今すぐ更新] をクリックして作業を開始してください。詳細情報

今は更新しない

今すぐ更新

ウィンドウズアップデート勧誘の画面

- 解像度が高い（高DPI）ディスプレイでの表示が改善
- フォントの表示が改善
- ペイントアプリが3D対応に
- 3Dコンテンツを他人と共有できるRemix 3D。

などが謳われていますが、どうしても、これがほしい、というものが無いように思います。

ウィンドウズ10は、不具合対応などのため、しばしば小規模なアップデートをします。それとは別に機能を追加するような大型のアップデートを何回か行ってきました。ノベンバー アップデート（November Update）、アニヴァーサリー アップデート（Anniversary Update）などです。クリエイターズ アップデートの後には、フォール クリエイターズ アップデート（Fall Creators Update）が控えています。

今回、しつこくお誘いがあるということは、何かいいことがあるんだろうと、3台のパソコンでこのアップデートをやってみました。

結果として、うち2台ではプリンターが使えなくなりました。このプリンターは買って10年ぐらいの古いもので、プリンタードライバーはウィンドウズビスタまでしか対応できないものでしたが、ウィンドウズ10になってても動作していました。クリエイターズアップデートでは、もう限界だったようです。当然、ウィンドウズを元のバージョンに戻したらプリンターも復活しました。

他の1台ではワイファイを使ったインターネットへの接続ができなくなりました。設定接続の処理をして見ましたが対応できず、インターネットが見られないのは大変と、ウィンドウズを元のバージョンへ戻して回復しました。

このように大きな不具合が出たために、あまりいろいろな使い方をしないうちに元に戻しましたが、たとえば「コントロールパネル」を使うとき、元のバージョンでは「スタート」で右クリックをすると、開いたウィンドウに「コントロールパネル」がありましたが、新しいバージョンではありません。えらいことになったと調べてみると「スタート」から左クリックで「すべてのアプリ」を出し「Windows システムツール」の中に「コントロールパネル」がありました。取説もないので、こんなことはネットを調べないと出てきません。ネット検索が得意でない人は、ここでも前に進めなくなってしまいます。ほんの一例ですが、こんなことは他にもいっぱいあるのでしょう。

ネットをいろいろ調べてみると、古いパソコンではウィンドウ10の新しいバージョンに対応できないものがあることがわかりました。極端な話では、ある種のCPU（中央演算装置・パソコンの心臓部の部品）ではウィンドウズの最新バージョンでは動作できないものがあったということです。

これらの現象から考えると、お誘いがあったからといって、軽々しくアップデートしないことです。メーカー製のパソコンの場合、そのメーカーのホームページでアップデートができるかどうか、機種別にリストされている場合があります。たとえば、ウィンドウズ8のパソコンを、ウィンドウズ8.1にアップデートできるかどうか、当時、機種名を挙げて示されていました。メーカー製のパソコンの場合は、何か不具合が出ないかどうか、しっかり調べているので、このような対応をしてくれていると思います。アップデートの前に、このような点をよく調べた方がいいと思います。

さて、もう1台、最近リニューアルしたパソコン（古いパソコンが壊れ、部品を入れ替えて作り直したものは、買ってきたOSが最初から「クリエイターズ アップデート」の状態になっていました。古いプリンターもちゃんと使えましたし、今のところ特に問題は見つかっていません。これに使ったCPU（前出）は現時点で最新のものなので、新しいバージョンにうまく合っているのだらうと思います。その反面、このCPUはウィンドウズ7が使えない仕様だと聞いています。新しいものに対応できる代わりに、古いものに対応できない、実にITは魑魅魍魎の世界になってきたと感じます。 ■